

**コミュニケーション分野 | 普及・啓発(ツール・メディア)**  
奨励賞(審査委員長賞)  
「京銀ふれあいの森」等の地域産材を使用した、銀行店舗内装木質化工事  
株式会社京都銀行

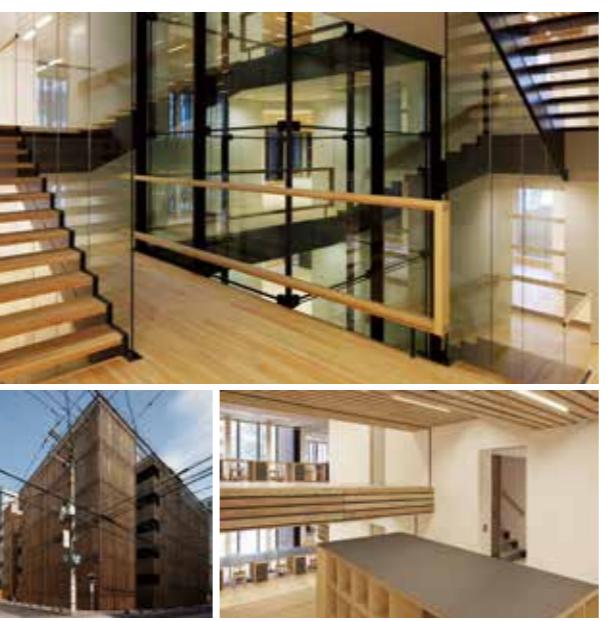
**概要**

京都銀行では、環境問題への取組として、「環境にやさしい店舗」づくりに取り組んでおり、その一つとして、平成21年11月オープンの「吹田支店」以降、店舗内装に地域産材を取り入れており、その店舗数は30か店になります。また、平成24年6月からは企業の森である「京銀ふれあいの森」において、行員による森林整備活動に取り組んでおり、その森で行員が間伐したヒノキ材を「高槻支店」や「金閣寺支店」の内装に使用しています。

◆<http://www.kyotobank.co.jp/>

**評価ポイント** 入口と出口をつなぐ、社会提案性の高いプロジェクトである。行員自らが森林整備へ赴き実践している点、内装木質化の取組の継続性、店舗数の規模を見ても同様の事例では群を抜いている感がある。

035



**建築・空間分野 | オフィス・会議施設 | 奨励賞(審査委員長賞) 032**  
**日本庄着端子製造株式会社**  
Atelier KISHISHITA+Man\*go design、日本庄着端子製造株式会社、鹿島建設株式会社 関西支店、越井木材工業株式会社

**概要**

庄着端子やコネクター等、接続システム製品を製造販売するグローバル企業の国内拠点となる新社屋である。都心の防火地域内において防災に十分な配慮をしつつ内外装の木質化を積極的に試みた建物である。地下2階、地上8階建てで約8,200m<sup>2</sup>の空間は、各階を4つのエリアに分割し、隣り合うエリアが床を半階ずらしながら繋がる二重螺旋構造で構成されている。循環資源である国産木材を多用することで快適な執務空間を形成しつつ、使用材料の素材感や色調の変化を通して、あるいは20年後に想定している外装木格子の取替えを通して、「動的な建築」の在り方を表現したプロジェクトである。働くための空間としてより快適なものを目指すとともに、ヒートアイランド現象等の環境問題や日本の林業が抱える様々な問題を解決して持続可能な社会を形成していくための「小さくても確かな一歩」となることを目指している。

◆[http://www.at-kishishita.jp/i\\_works/w\\_jst/works\\_jst-1.html](http://www.at-kishishita.jp/i_works/w_jst/works_jst-1.html)

**評価ポイント** 意欲的な内外装の木質化を試みた、意匠性に優れた建築物である。保護塗装を施さずに経年変化も読み込んだ設計は、木の魅力を伝えるに十分な存在感を持つ。外装の木質化によって、林業関係者や設計者の意欲向上にもつながる。

036



**コミュニケーション分野 | プロモーション(継続)**  
奨励賞(審査委員長賞)  
**旭川トドマツ屋台プロジェクト**  
株式会社北海道ボットラック、パワープレイス株式会社、北海道上川総合振興局、旭川市、旭川信用金庫、CONITUREプロジェクトメンバー

**概要**

トドマツ材は軽らかく、強度や耐久性の点から家具や木工品として使われてこなかったが、蓄積量が多く伐期を迎えるため、活用が期待されている。白く軽量なトドマツ材を効果的に使うため、公共空間やイベントで使用される屋台づくりをスタートさせた。組立式の4WAYの工夫により、通常使用も出来、収納体積を減らした。屋台の格子の連なりから、トドマツ材の美しさを知らせるデザインが特徴。川上に対しては針葉樹の製品づくりが可能であることを、川中に対しては製品化に適した乾燥材や規格材の流通を、川下に対しては森の現状や材を理解したうえでのデザイン、製作を相互に学びあう。「北の恵み食べマルシェ」は来場者数100万人を超える大型イベントで、トドマツ屋台はマルシェのスタート地点に設置し、来場者やメディアを通じてトドマツの活用の意味を周知させた。

◆<http://coniture.jp/>

仕様: 底トドマツ製4WAY屋台 (鉄製脚 or 木製脚) W1,800~  
価格: 180,000円~(消費税別)/台 (サイズ、仕様による)  
入手先: 株式会社北海道ボットラック

**評価ポイント** 屋台という身近なアイテムを通じて、川上・川中・川下の意識醸成を促し、トドマツの活用を促進するプロジェクト。屋台のデザインクオリティも高く、問題意識と伝え方に一貫性がある。



**建築・空間分野 | 学習施設 | 奨励賞(審査委員長賞) 033**  
**竹中大工道具館新館**  
株式会社竹中工務店、株式会社乃村工藝社、公益財団法人竹中大工道具館

**概要**

日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」が創設30周年を機に移転し、「人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ」をテーマに、道具の保存・展示に加え、職人の技と心の記録、木の文化の理解促進、伝統のものづくり支援など、より幅広い活動を行うため、新たな一步を踏み出した。六甲山麓の都市の中の森に、地下2層に常設展示室と木工教室を、地上部に鉄と木のハイブリッドによる多目的ホールを設け、緑の中にある平屋の併まいの和の空間を創出した。7つのコーナー展示、国内外の著名な大工との協働による実物大模型、職人による伝統的技術とアルミ・鉄・コンクリートにまつわる現代的技術—それぞれの粹を集めた「現代の職人の技と心」を随所に編み込み、大工道具の世界の広がりと豊かさだけでなく、伝統のものづくりに新たな刺激を与える場を目指した。

◆<http://www.douukan.jp/>

**評価ポイント** 日本で唯一の大工道具の博物館として、職人技術や先進技術を空間に使い、木の魅力を伝える意匠性が高いミュージアムとなっている。技術展示とともに、木の素晴らしさや木と触れ合う楽しさを体験するワークショップなどを実施しており、日本の木づかいの伝統から技の習得まで次世代へ伝えるべきコンテンツがあることを評価した。

037



**コミュニケーション分野 | ビジネスマodel**  
奨励賞(審査委員長賞)  
**やまなし水源地ブランド推進協議会**  
やまなし水源地ブランド推進協議会、早川町、丹波山村、道志村、公益財団法人オイスカ、特定非営利活動法人木netやまなし、特定非営利活動法人道志・森づくりネットワーク、山梨県工業技術センター、株式会社イトーキ、シナブテック株式会社

**概要**

日本の山間地が抱える共通の課題として人工林の整備促進、森林資源を活用した多次産業の開発・振興等があります。これまで、それぞれの地域において取組みが行われてきましたが、地域のリソースのみで解決する事が難しい現状です。都市部にとっても水源やCO<sub>2</sub>吸収など山間地の森林の恩恵を受けている事を鑑み、「やまなし水源地ブランド」では山間地と都市部の産官民が集い、それぞれの強みを活かして魅力ある製品等を開発・発信することにより、水源地を守っていくことを目指しています。全国でも類のない協業のかたちとして、地域材の新たな活用方法の確立につながるとともに、地域の活性化につながるモデル事業になることを確信しています。

◆<http://suigenchi-brand.com/>

**評価ポイント** 水源地という共通の要素を持った地域が結集し、多様なステークホルダーを巻き込んだ取組につながっている。都市の中の木づかいというニーズに沿った製品開発は個々を見てもクオリティが高く、提案性のあるものになっており、構想とアウトプットがマッチしていると感じる。



**建材・部材分野 | 床・壁・内外装材 | 奨励賞(審査委員長賞) 034**  
**カーボンオフセットサイディング**  
ニチハ株式会社

**概要**

国産材(スギ・ヒノキ)の背板・端材を利用した木材チップを原料に、セメント系無機バインダーとの組み合わせによる窯業系サイディング(外壁材)。国産木材の中でも「間伐材」のみ使用することで木材の性能を活かした高強度の外壁材であることに加え、間接的に山の理想的な循環を促し土壌が脆弱な森を強い山に生まれ変わらせ、CO<sub>2</sub>吸収拡大にも貢献する機能も併せ持つ。木の生長過程で取り込んだCO<sub>2</sub>が製品内部へ固定され、さらに間伐材利用拡大により森林でCO<sub>2</sub>吸収源が拡大することに着目し、その両方の効果をクレジットとして付加させており、製品を購入したお施主様は住家建築後生活時に排出するCO<sub>2</sub>の一部を実際にオフセット(相殺)が可能となる。購入代金の一部が森を育てる活動に還元され、製品を選ぶ人が増えれば増えるほど森づくりの輪がひろがり好循環を生み出す。

◆<http://www.nichiha.co.jp/pdf/products/carbonoffset.pdf>

仕様: 厚さ16mm×幅455mm×長さ3,030mm 他  
価格: 3,456円~10,152円/枚 (2,507円~7,365円/m<sup>2</sup>) 税込  
入手先: 代理店販売

**評価ポイント** 国産材の端材等を利用した木材チップを原料にした窯業系外壁材である。購入者には「カーボン・オフセット証明書」を発行し、CO<sub>2</sub>削減量を見える化しており、製品購入を通じて環境貢献が実感できる仕組みになっている。